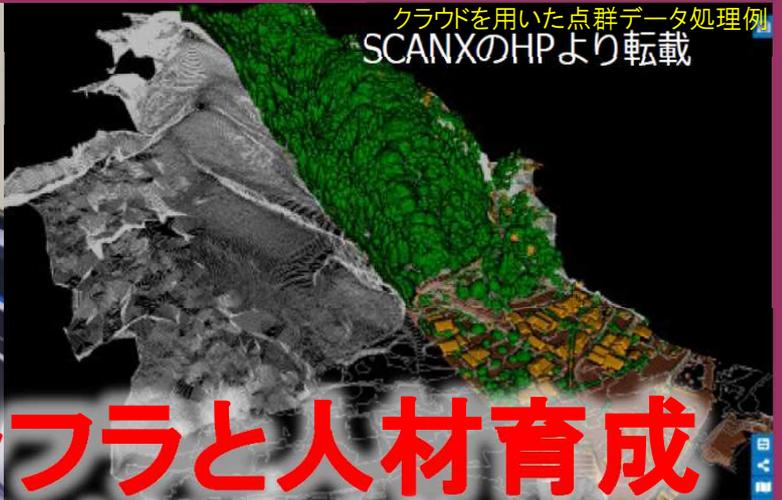


第8回地域づくり政策セミナー

スカイパーチャルツアー



クラウドを用いた点群データ処理例
SCANXのHPより転載



DX時代のインフラと人材育成 ～DXがもたらす社会変化～



災害査定用パーチャルツアー



令和2年7月豪雨での災害現場での点群データ

コロナ禍における市民生活の「安全・安心」を確保するうえで、社会インフラの量・質、代替機能の低下等に対する迅速かつ的確な対応が喫緊の課題となっています。

本セミナーでは、アフターコロナの社会環境変化を踏まえながら、市民生活を支えるインフラマネジメントや被災地調査等に活用が期待される“DX”がもたらす社会環境の変化とそれらに携わる土木技術者をどう人材育成していくかを基本テーマとし、各方面の有識者や専門家からの知見をご紹介します。

日時 令和4年1月31日[月] 13:00～17:00 (開場 12:00)

会場 TKPガーデンシティ博多新幹線口 5F プレミアムホール

[定員] 会場50名
受講 Web300名
無料 ※申込方法は裏面
をご確認願います。

内容

挨拶 13:00

【開会挨拶】 (一社)九州地域づくり協会 理事長
【来賓挨拶】 国土交通省 九州地方整備局長

田中 慎一郎
藤巻 浩之 氏

基調講演 13:10～14:00

◆「持続可能性×DXによるインフラ整備の方向性 ～3次元川づくりを事例として～」

国立研究開発法人 土木研究所 水環境研究グループ

河川生態チーム上席研究員 (兼 自然共生研究センター長)

中村 圭吾 氏

事例報告 14:00～15:00

◆「自治体におけるDX」

福岡市 総務企画局 ICT戦略室 ICT推進課長

日上 俊祐 氏

◆「情報通信事業者としてのDX推進」

NTTドコモ 執行役員 5G・IoTビジネス部長

坪谷 寿一 氏

◆「建設業界におけるDX」

清水建設(株) 土木技術本部

イノベーション推進部長

小島 英郷 氏

パネルディスカッション 15:15～17:00

◆「DX時代のインフラと人材育成 ～ DXがもたらす社会変化 ～」

【コーディネーター】九州大学名誉教授

日野 伸一 氏

【アドバイザー】国立研究開発法人 土木研究所 水環境研究グループ

河川生態チーム上席研究員(兼 自然共生研究センター長)

中村 圭吾 氏

【パネリスト】九州大学 工学研究院 教授

NTTドコモ 執行役員 5G・IoTビジネス部長

馬奈木 俊介 氏

清水建設(株) 土木技術本部 イノベーション推進部長

坪谷 寿一 氏

国土交通省 九州地方整備局 企画部長

小島 英郷 氏

森下 博之 氏

◆主催/一般社団法人 九州地域づくり協会

◆後援/国土交通省 九州地方整備局、福岡市、
九州DX推進コンソーシアム、一般社団法人 九州経済連合会、
公益財団法人 九州経済調査協会、九州商工会議所連合会

※本セミナーは、土木学会 継続教育認定プログラムです。

【留意事項】

- ・コロナ感染症対策を講じての開催となります。
また、懇親会の開催はございません。あしからずご了承下さい。
- ・会場入場時、非接触型体温計による体温測定を行い、発熱症状が認められた場合は、入場をお断り致します。
また、マスク着用を必須条件とし、着用がない場合は入場をお断り致します。

【定員】（※いずれも先着順と致します。当日受付は出来ません。）

- ・会場受講者：50名
- ・Web受講者：300名（※CPD付与は、九州・山口県内の方を対象と致します。）
※Zoomウェビナー配信となるため、対象者はZoom操作が対応可能な方と致します。

【申し込み方法】

以下の（一社）九州地域づくり協会ホームページからのWeb申し込みと致します。
（※電話及びFaxによる受付は致しません。）
申込フォームに必要事項をご入力の上お申込み下さい。

※当協会ホームページ：<http://www.qscpua.or.jp/>

受講無料

- ・会場受講者：後日、QRコードをメール致します。当日は会場受付でご提示下さい。
- ・Web受講者：後日、セミナーを受講するためのURL等をメール致します。
当日は、それを用いてセミナー受講の事前準備をお願い致します。

【CPD】

本セミナーの土木学会CPDプログラムの認定単位は **3.7** です。

（※土木学会で証明する単位が、各団体のルールにより認められない場合があります。）

会場受講者及びWeb受講者のCPDプログラム認定は、セミナー終了後のWebによる効果測定アンケート回答（100文字以上）が必須条件となります。

このため、受講後、Web上の入力フォームに基づき、入力漏れなどにご注意して入力頂いた後、当方にてアンケート内容を確認して効果測定が確認できた方のみ、事前登録されたメールアドレスへ証明書（PDF）をメール致します。

【会場アクセス】

TKP ガーデンシティ博多新幹線口 プレミアムホール
〒812-0012福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-14 福さ屋本社ビル 5F



【問合せ先】

（一社）九州地域づくり協会

企画部企画課 松井、秀徳(シュウトク)

TEL：092-476-5680

E-mail: matsui@qscpua.or.jp

基調講演 <13:10~14:00>

「持続可能性 × DXによるインフラ整備の方向性」 ～ 3次元川づくりを事例として～



国立研究開発法人 土木研究所 水環境研究グループ
河川生態チーム上席研究員(兼 自然共生研究センター長)

中村 圭吾 氏

NAKAMURA Keigo

アドバイザー

専門は河川環境。本省補佐時代にALBIによる河川測量に着手。福井河川国道事務所長時代は河川CIMを現場で実践。2018年より現職。

事例報告・パネルディスカッション <14:00~17:00>

パネルディスカッションテーマ: DX時代のインフラと人材育成 ～ DXがもたらす社会変化～

コーディネーター



九州大学名誉教授

日野 伸一 氏

HINO Shinichi

九州大学教授(副学長)、大分工業高等専門学校長を経て、2021年4月より、九州建設技術管理協会学術顧問。専門は、橋梁工学、維持管理工学。現在、インフラメンテナンス国民会議九州フォーラムのリーダーを務める。

事例報告



「自治体におけるDX」

福岡市 総務企画局
ICT戦略室 ICT推進課長

日上 俊祐 氏

HIKAMI Shunsuke

2021年8月より現職。総務省において、NTT法の執行等情報通信行政に従事。2019年より、「インド太平洋地域におけるスマートシティの開発の推進に関する日米共同声明」発出のために米国及び各中央省庁との調整等に尽力。

パネリスト



九州大学 工学研究院
教授

馬奈木 俊介 氏

MANAGI Shunsuke

九州DX推進コンソーシアム(九大担当)、国連「新国富報告書」代表、国連「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」代表執筆者、国連「生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム(IPBES)」統括代表執筆者。

事例報告 パネリスト



「情報通信事業者としてのDX推進」

NTTドコモ 執行役員
5G・IoTビジネス部長

坪谷 寿一 氏

TSUBOYA Hisakazu

NTT入社後分社化したドコモに移りネットワーク技術開発や新領域事業創出に従事。自ら立上げに係わったドコモバイクシェア社初代社長、千葉支店長を経て2020年現職。パートナー企業とのソリューション協創、5G×DXによるビジネス創出に取り組む。

パネリスト



国土交通省九州地方整備局
企画部長

森下 博之 氏

MORISHITA Hiroyuki

2021年4月より現職。2021年4月より整備局に設置された「インフラDX推進センター」においてセンター長を兼務。DXを通じて建設業における働き方改革や社会資本整備の変革に取り組む。

事例報告 パネリスト



「建設業界におけるDX」

清水建設(株) 土木技術本部
イノベーション推進部長

小島 英郷 氏

KOJIMA Hidesato

山岳トンネル、岩盤空洞施設やバックエンド分野での設計、解析技術、施工、技術開発に従事。近年は、土木全般に関係する技術開発を統括。一方で、スマートシティ構想へのプロジェクトにも参画。